

第34回特別展

はじまりの武士の物語。

よみがえる武士の魂

— 鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化 —



重要文化財 軒丸瓦
柳之御所遺跡 (岩手県教育委員会蔵)



重要文化財 白磁四耳壺
平泉遺跡群 (平泉町教育委員会蔵)



白河市指定文化財
櫛無鎧写 鹿嶋神社蔵
(白河市歴史民俗資料館保管)



神奈川県指定文化財 銅製經筒
史跡永福寺内経塚 (鎌倉市教育委員会蔵)



仏花瓶
若宮大路周辺遺跡群 (鎌倉市教育委員会蔵)



刀架
北条時房・顕時邸跡
(鎌倉教育委員会蔵)



菊花双鳥鏡
雲峰寺経塚
(東京国立博物館蔵)



第34回特別展 よみがえる武士の魂

—鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化—

会期：平成28年9月28日（水）— 11月23日（水・祝）

甲斐源氏の祖・新羅三郎義光は、兄の源義家（源頼朝の高祖父）とともに東北の覇者・藤原氏の隆盛のきっかけとなった後三年の役（1083～1087年）に参戦しました。前九年の役（1051～1062年）と合わせて、源氏が武士の棟梁としての名声を不動のものとする礎がこの戦いで築られました。一方、奥州（平泉）藤原氏は国際色・宗教色あふれる都「平泉」を造営し栄華を誇り、また東国の支配権を固めた源頼朝は平泉の文化や生活様式を吸収し、これまでにない本格的な武家の都の造営を行いました。

本展では、甲斐源氏勃興の時代である平安時代末から鎌倉時代にかけての出土品と、武家文化が花開いた鎌倉・平泉ほか各地の出土品を比較しながら、武家文化が目指した世界を紹介します。

第1部 甲斐源氏の前夜と末法思想

平安時代末、浄土思想（※1）が普及する一方で、末法思想（※2）の影響を受けて書写した経典を埋納する経塚（きょうづか）が出現します。武家の名門「甲斐源氏」前夜の社会を、経塚出土品から探ります。

左：菊花双鳥鏡 雲峰寺経塚（東京国立博物館蔵）

右：重要文化財 銅製経筒 柏尾山2号経塚（東京国立博物館蔵）



※1 仏または菩薩の住む清浄な国土（浄土）に憧れる思想。貴族社会では極楽浄土への往生を願う信仰が広まった。

※2 釈迦の滅後、年代が経つにつれて正しい教法が衰滅するという思想。古代貴族政治崩壊期にあたると、末法の危機感はピークに達した。

Image: TNM Image Archives

第2部 鎌倉—武士の都と武家文化—

最初の武家の都である「鎌倉」では膨大な出土品を蓄積しています。鎌倉幕府を開府した源頼朝は平泉の寺々を模して建立した永福寺をはじめ、さまざまな平泉文化を鎌倉に継承したと考えられています。この章では頼朝が幕府開府とともに構築した武家文化の世界を出土品から垣間見ます。

左：青磁魚文皿 藤内定員邸跡（鎌倉市教育委員会蔵）

右：鎌倉市指定文化財 木製仏像 北条時房・顕時邸跡（鎌倉市教育委員会蔵）



第3部 平泉—東北に開花した武家文化—

奥州（平泉）藤原氏は浄土思想を都市計画に反映させ、北の都「平泉」に中尊寺や毛越寺を建て、浄土を現世に表現しました。

みちのくに花開いた武家文化を、世界遺産平泉にある柳之御所や中尊寺などの豊富な発掘成果から読み解きます。

重要文化財 青白磁碗 平泉遺跡群（平泉町教育委員会蔵）▶



第4部 甲斐の武家文化の源流—甲斐源氏とその後—

甲斐源氏ゆかりの出土品を中心に、甲斐における平安時代末から鎌倉時代にかけての発掘成果を展示し、考古学から甲斐源氏が目指した武家文化の世界に迫ります。

鎌倉時代の生活道具（左から：下駄・鉢・扇子）▶
大師東丹保遺跡（当館蔵）



記念シンポジウム

「鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化を語る」

平成28年11月13日〔日〕 午後1時～5時

岡島ローヤル会館（甲府市丸の内1-21-15 岡島百貨店8階）

●パネラー

＜基調講演＞

五味 文彦 氏（東京大学・放送大学名誉教授）
「甲斐源氏と鎌倉・平泉」

＜講演＞

八重樫 忠郎 氏（平泉町まちづくり推進課）
「考古学にみる平泉の世界」

●コーディネーター

萩原 三雄（当館館長）

永田 史子 氏（鎌倉市教育委員会）
「考古学にみる鎌倉の世界」

西川 広平 氏（県富士山世界遺産センター）
「甲斐源氏と源頼朝」

閨間 俊明 氏（韮崎市教育委員会）
「甲斐源氏の伝承地を探る」

※参加費は無料ですが事前予約が必要です。

10月13日〔木〕から電話またはホームページの
電子申請からお申し込みください。

第34回特別展

よみがえる武士の魂

—鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化—

- ◆開催期間 9月28日（水）～11月23日（水・祝）
- ◆休館日 月曜日（10月10日は開館）
- ◆開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◆観覧料 一般・大学生600円（20名以上の団体の場合480円）
小・中・高校生・県内在住の65歳以上の方（要証明書）無料
障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

※常設展の観覧には別途観覧券が必要です。また、特別展・常設展セット券（共通観覧券）は一般・大学生650円となります。





風土記の丘こどもまつり



初夏の風土記の丘を満喫できる大人気イベント「風土記の丘こどもまつり」を今年も5月4日(水)・5日(木)の2日間にわたって開催しました。毎年恒例のこのイベントでは、狩猟体験や火おこし体験、勾玉作り体験など、古代気分を味わえるさまざまなアトラクションを子どもたちに体験してもらっています。

今年新たに公園内の古墳をめぐる「古墳ツーリズム」や「古代米で餅つき」

などのアトラクションを追加し、よりアクティブに楽しめる催しが目白押しでした。1日目は強風の影響で一部屋外イベントを中止する場面もありましたが、天気は両日とも快晴に恵まれ、青空の下、思いきり公園内を駆け回り、歌い、踊り、食べ、遊び、満喫する子どもたちの姿が印象的なイベントとなりました。

南アルプス市から昨年「どくキャラ※」日本一に輝いた「子宝の女神ラヴィ」があそびにきてくれました！

※土偶キャラクターのこと。毎年ネット上で「どくキャラ総選挙」を行い、人気を競っています。

アトラクション

- ・スマホでウォークラリー
- ・狩猟体験
- ・縄文風スープ試食
- ・古代とあそぼう
- ・古代米で餅つき
- ・古墳ツーリズム
- ・勾玉作り体験
- ・縄文土器太鼓の演奏
- ・古代の火おこし体験
- ・中道古墳探検隊
- ・クラフトを作ろう
- ・他、ステージ、芝生広場でのアトラクション



▲今年も来てくれました！
「JOMON DOKI DRUM BAND 森の精霊」の皆さん



▲ラヴィちゃんと一緒に演奏中♪



▲音ながらの堅竹でヨイショ！



▲輪投げって意外と難しい…



▲気分は狩人！？何頭たおせるかな？

小中学生親子ものづくり教室 チャレンジ博物館

- 第1回 勾玉づくりにチャレンジ (4/17)
やすりを使って石を削り、磨き上げて勾玉を作りました。
- 第2回 縄文笛づくりにチャレンジ (5/15)
粘土で素朴な縄文時代の笛づくりに挑戦しました。
- 第3回 弥生時代の矢じりづくりにチャレンジ (6/12)
粘板岩をけずり、磨いて矢じりを作成。矢竹に羽を付けて飾り矢に仕上げました。
- 第4回 縄文土器づくりにチャレンジ (7/17・24)
全2回の行程で土をこね、形を作り、文様をつけて自分だけの縄文土器づくりに挑戦しました。
- 第5回 縄文時代のかごづくりにチャレンジ (8/21)
「網代編み(あじろあみ)」という技法で紙バンドを織り上げ、ペットボトル入れづくりに挑戦しました。



◀縄文土器作り



◀土笛作り

大人のものでづくり教室 原始古代の技に学ぶ

- 第1回 トンボ玉作り (4/3)
ガスバーナーを使ってガラス棒を溶かし、古代のアクセサリーであるトンボ玉を作りました。
- 第2回 琥珀勾玉作り (5/21)
再生琥珀を使って古代の威信財でもあった勾玉を作成。完成後オリジナルのペンダントに仕上げました。
- 第3回 土笛作り (6/11)
縄文や弥生時代の笛を粘土を練って成形し、再現しました。
- 第4回 刀の鐔(つば)キーホルダー作り (7/10・23)
秋からの特別展に関連して、刀の鐔を象った金工細工のキーホルダーを製作しました。
- 第5回 トンボ玉作り (8/6・20)



▶琥珀勾玉



▶刀の鐔キーホルダー